

## 第4回 学校運営協議会 2月15日（火）14:30～ 視聴覚室

出席者	会長	妹尾 久雄
	副会長	渡部 昭司
	コーディネーター	矢野 真一
	委員	鈴木 綾
	委員	小野 修平
	委員	宮本 尚登（校長）
	委員	矢崎 慶（副校長）
		海老塚京子（主幹教諭）
		小川 壮司（主幹教諭）

市教育委員会事務局（教育企画課、社会教育課）

### ● 校長あいさつ

今日は、今年度の明保中学校の取組を評価していただきたい。学校関係者評価に書いていただいたコメント等を学校で集約して、教育委員会に報告するとともに、次年度の教育活動に活かしていく。

来年度は、保護者の方を含めて、新たに2名の方に委員をお願いする予定である。なお、今回で終了となる委員の皆様には、1年間大変お世話になり感謝している。

### ● 今年度の活動状況について

#### ① 放課後ステイルーム

委員 冬休みは残念ながら参加者はゼロであった。学年末テスト前の実施については、校長先生と相談の結果、新型コロナウイルスの状況を踏まえて中止とした。

来年度また何らかの形で活動していく。改めて、相談させていただきたい。

#### ② 学校応援団プロジェクト・第1弾（ペンキ塗り）

委員 前回の資料のとおり、2月23日（水・祝）、26日（土）に玄関のペンキ塗りを行う予定である。

チラシ150部を地域の公民館や社会福祉協議会などに置かせていただいた。また、東町の自宅を公開して居場所づくりをしているお宅の門扉に透明なケースに入れて配布させていただいたところ、「毎日ちよつとずつ無くなるのよね」とおしゃっていた。また、2月1号の市報にも掲載した。

申し込み状況は、現在6名、うち一人は本校の生徒である。チラシ配布と市報掲載だけだが、どこで知って申し込みされたか当日確認し、今後の活

動にも参加してもらえるようにしていきたい。

3月の卒業式と4月の入学式に綺麗な玄関になっていることを祈っている。

委員 申込書を見ながら相談しようと思っていたが、6名の申し込みがあり、学校からも配布する想定だったが、必要人数に達したので、大丈夫かと思う。

委員 高圧洗浄機での洗浄も行うのか。

委員 人数的には可能である。

委員 作業後に交流の時間も作ろうと思う。

委員 当日いらっしゃる方は面識のある方か。

委員 存じ上げない。

委員 楽しみである。

委員 参加していただいた際に参加理由等を教えていただこうと思う。

委員 ヒアリングをして、今後の参考にしたい。

委員 申し込み時に聞くべき項目を精査しなければならないというのが、今回の反省点である。

委員 学校応援団というのは、どういう位置づけか。

委員 学校応援団プロジェクトの第1弾ということで、今回はペンキ塗りだけをテーマにしている、第2弾を行う際には、今回参加された方に声掛けして、関係性を作って次回につなげていきたい。

委員 皆様の申し込み方法はどうなっているのか。

委員 メールはゼロで、すべて専用フォームからの申し込みだった。

## ● 来年度の学校行事について

校長 運動会はコロナ禍ということ considering、平日開催の短縮バージョンで予定している。土日に入れると変更が難しい。子どもの教育活動を優先したい。

9月には、1年移動教室と3年修学旅行を行う。また3月には合唱コンクールを予定している。

4月～8月は、特に感染予防策を重視した計画としている。

## ● 学校評価

副校長 所定の欄に意見やコメントをご記載いただきたい。保護者アンケートや職員アンケートの結果も踏まえてご回答いただきたい。

委員 保護者アンケートは、インターネットなどで回答したのか。

校長 一斉配信メールを用いて、回答していただいた。

委員 今時ですごく良いと思う。回収率はどうだったのか。

校長 半数以上の方からご回答いただいた。

委員 匿名は良いと思う。

校長 自由記述欄のご意見に対する学校の見解は、パスワードをかけてホームページ上で回答している。

委員 学校の保護者に対するアンケートと、職員に対するアンケートの結果を見てどう思うかを記入するということか。

委員 基本的には、学校評価報告書に対して、適切かどうか評価するという考え方で良いか。

校長 そのとおりである。

## ● その他

### ① 令和4年度学校経営方針について

校長 令和4年度学校経営方針については、令和4年度の第1回学校運営協議会においてご承認いただきたい。

### ② 人事に構想について

校長 人事は、「多様な考え方をもつ職員で構成すること」「社会性のある職員で構成すること」を意識していきたい。

委員 顧問の問題もあると思うが部活動に関して、増える予定はあるか。

校長 来年度の募集する部活動は、ホームページで小学校6年生の保護者の方向けにご案内している。

バスケ部及びテニス部で男女の募集を行う。また、音楽部でも活動内容の変更を検討している。

碧山小の吹奏楽クラブの子どもたちが、学校選択制を利用して毎年20名程、他校を選択している。このことについて、改善を図っていく。

委員 小中連携の取組はどうなっているのか。

校長 オンラインで本校2年生と東小6年生との間で、ビブリオバトルを行う予定である。また、中学校1年生がおすすめの本のポップを作り、東小の図書室に掲示している。さらに、再来週、中学校の教員が小学校へ行き、理科と英語の授業をすることを予定している。

小学校6年生の子が中学生はすごいなと思える夢膨らむような取組が重要だと考えている。

委員 中学校へのギャップの解消はどうなっているのか。

校長 一方的に説明する授業ではなくて、主体的に学ぶような授業スタイルをとり、小学校と中学校であまり授業スタイルが変わらないようにする必要があり、あると思っている。

委員 校長は市教委で小中貫一貫教育を担当していたこともあるので、ぜひ、明保中版の小中一貫教育を進めていただけると期待している。

委員 学校と通学域が合っていないということが今後の1つの課題だと思う。なかなか難しい問題である。

委員 育成会も小学校区で動いている。

委員 難しい問題だと思う。

\* 今年度は終了